

# 2017年度 学校法人 三幸学園 名古屋ビューティーアート専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：教務課長 磯部 朗子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 小栗 慎司

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化出来る(みんなをハッピーにする)人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

29年度は前年度に引き続き下記の5点の改善に取り組み、学園のミッション・ビジョン実現と美容分野のビジョンや教育理念、そして人材育成像の実現に向け取組んだ。

1. 主体性を育む教育(心の教育強化)
2. 退学率の低減
3. 検定合格率の向上
4. 掃除・挨拶の徹底
5. アクティブラーニングの工夫・確率

### ② 学校関係者評価委員会コメント

学校の教育理念の浸透を図り、昨年度からの課題を継続して指導していただきたい。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 課題

入学直前での保護者会・入学式への参加・担任よりクラス新聞・保護者への電話掛けなど5月までに行うことで保護者と学校・担任との連携を図ることに力を入れているが、結果としては分からない。また、業界のニーズに人材育成が方向付けられているのかは、業界の方々からの求人票の多さ・ガイダンスへの希望数などで人材が求められていると推測できる。

#### ② 今後の改善方策

保護者との連携は今後も継続し、後期のクラス分けでの同じようにクラス新聞・担任より保護者への電話掛け等行っていく。また、学校の様子を随時把握頂くためにも、スタディサプリの発信を継続的に行っていく。

#### ③ 特記事項

学校の理念・目的・育成人材像は、入学前のオリエンテーションや保護者説明会にて新入生及び保護者に提示している。また、入学後に行なう全生徒対象の研修プログラムでも、学校の理念・目的・育成人材像は周知し、そこに向かうべく、個々の目標設定と管理を徹底している。

校内及び教室に、学校の理念・目的・育成人材像の記載されたポスターを掲示している。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

学校の運営を情報公開としてHPを拝見しているが、もっと他の企業や保護者もHPを閲覧するように告知してもよいのではない。周知していけると良い。

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

情報システム化による業務の効率化は進んでいるが、個々が十分に理解し活用しきれていない部分もある。システム化によるメリットや効率よい活用方法を浸透させていく必要がある。

### ② 今後の改善方策

システム化の理解と活用法を再度説明する環境を作る。

### ③ 特記事項

WEB 上の教務掲示版(スタディサプリ)の設置など、情報システムの導入はしている。また、講師情報開示ファイルを設置し、日頃から確認できる環境を整えている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

適切に実施されている様子を感じる。

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

2年間に求められる育成能力が広がる中、教員の対応力向上が追い付いていないのが現状としてある。研修は多種多様に行っているが、学びから実践する中で苦戦している部分も見られる。また、人材育成の研修として外部研修も学生に取り入れることにより少しでも美容業界からの離職を防ぐ。

#### ② 今後の改善方策

授業アンケートによる学生からの意見に基づいた各先生方の振り返りは継続するとともに、ALを交えた授業展開にも継続できる環境を作っていく。

#### ③ 特記事項

アクティブラーニングを実践していく中で、能動的学習を積極的に行っている。また、産学連携や地域貢献への取り組みを行っている。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

入学者が多様化しているので、対応力が求められている状況。人を育成するということに関しては個別に対応していくべき。日頃からの情報交換を大切にしていきたい。

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

離職率を低減させるためには、就職先の選び方・学生時での社会人としての自覚などに力を入れていく。

##### ② 今後の改善方策

学生自身が気づくことが大切なので、外部研修を行うことで、意識改革を行っていく。また、ガイダンスを年1回から2回へのサロンとの関りを増やす事で離職率を低減させたい。

今年度から TB 科同様美容科・ヘアメイク科の1年生も10日間のサロン実習を行うこととする。

##### ③ 特記事項

同窓会 Link の HP 活用や卒業生支援に取り組んでいる。

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

最近の学生の傾向として小さくまとまりすぎている。就職が終わりではなく、就職してからが輝き続けることの指導を継続していただきたい。

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

### ① 課題

卒業生支援・中途退学者への支援を向上させる必要がある。

### ② 今後の改善方策

卒業生支援として、卒業生リンクへの中途採用の求人表を掲載すること。また、卒業生対象とした講習会などを開催していくことを検討する。

### ③ 特記事項

カウンセラーの設置、学生の希望により定期的に話をすることができる環境がある。

学生の経済的側面に対する支援体制として、奨学金や各種教育ローンを設けている。

学生の生活環境への支援としては、提携している寮等の案内がある。

高校との連携では、職業紹介のガイダンス等で協力させていただいている。

退学者に対するアンケートを実施、今後の学校運営に役立っている

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

卒業生支援によりサロンと学校とのつながりがより深くなるのは良い傾向である。また、離職率低減にもつながるので継続していただきたい。

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

### ① 課題

災害を想定した避難訓練の内容や頻度。また教員の避難訓練の内容・頻度も強化する必要がある。

### ② 今後の改善方策

避難訓練を実施する前の学生・教員への意識付けを強化していく。（動画等を見せながら、実際に起こりうる災害への危機意識を高める）

### ③ 特記事項

企業と連携をし、現場が求めている人物像をキャッチし、インターンシップ前の指導及び終了後の指導・アドバイスなど事後指導の実施をして、卒業後に現場で活躍できる人材育成を実施する。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

防災への意識は仙台が高い。また仕事に対しての欲求も高いので姉妹校間での共有を行い、よりよい防災への取り組みを進めて頂きたい。

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

愛知県や愛知県専修学校各種学校業界等に沿って適切に行っているので問題はない。

### ② 今後の改善方策

A0 入試の時期など高校の指導によって異なるので、高校生に不利益にならないように説明を強化していく

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

募集活動は適正に行われていると感じる。引き続き規程に沿った募集活動を続けて頂きたい。



## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

個人情報の取り扱いやコンプライアンスの遵守について理解・継続する必要がある。

### ② 今後の改善方策

コンプライアンス研修を今年度も教員対象に導入し、理解を深めていく。

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

引き続き適切な対応を行っていただきたい。

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

### ① 課題

地域貢献としては、円頓寺での七夕まつり・マルシェへの参加をしている。  
毎年参加しているものなので得に大きな問題はない。

### ② 今後の改善方策

特になし。生徒の教育効果にもつながり地域の方々にとっても有益な講座や教育訓練を企画していく。

### ③ 特記事項

特になし。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

このまま今年度も継続していただきたい。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価の結果は概ね問題はないが、昨年度に引き続き、評価委員の方々からのご意見を参考に引き続き継続・運営を行っていく。

2018年度は昨年度の5点に引き続き、精皆勤率の向上改善にも力を入れていく。